

ふるさと御所 歴史探訪

おかげ参り①

あけましておめでとうござい
ます。今年からこの欄を担当させて
いただくことになりました。よろ
しく願っています。

今までは、「ふるさと御所 文化
財探訪」ということで、主に考古
学の立場から御所の文化財につい
て書かれてきました。平成20年5
月号から48回にわたって充実した
内容であったと思います。

これからは、「^{じかたもんじよ}地方文書」等に
基づいて、「近世」（江戸時代）の
歴史について書かせていただきます。
地方文書というのは、江戸時
代に村や町で作成された文書で、
近世後期の御所町のもの等を参考
にしたいと考えています。



正月 伊勢神宮にて

最初のテーマとして、「文政13年
（1830年）のおかげ参り」を取
り上げます。おかげ参りは、江戸
時代に繰り返し起こった伊勢神宮へ
の群参現象です。主なものは、約
60年の周期で起こった、慶安3年
（1650年）、宝永2年（1705
年）、明和8年（1771年）、文政
13年の4回とされています。慶応3
年（1867年）にも同様の現象が
起こっていますが、これは「ええじ
やないか」といわれ、別の要因があ
ったとする考えが主流です。

江戸時代には、伊勢神宮の布教
活動に従事した御師の活躍等によっ
て、「二生に一度はお伊勢参り」と
いう考えが定着し、伊勢参宮が盛ん
になりました。しかし、女性・奉公
人等、通常では参宮できない人たち
が、何かのきっかけによって、おか
げ参りに参加したとされています。
抜け参りともいわれるように、路銀
を持たない
人が多く、
各地で宿泊
所、食事等
の提供、す
なわち施行
が行われま
した。

おかげ参
りを最初に
取り上げる

- ことにしたのは、これに関する史料
が御所市指定文化財になっているか
らです。神宮町等で保管されてきま
したが、平成18年に御所市に寄贈さ
れました。御所市指定文化財には、
これらの文書以外に左記のものがあ
ります。括弧内には指定された年と、
現在の所有者等を記載します。
- 草場権関係文書一括
（平成9年、水戸社博物館）
 - 八幡神社本殿および摂社二棟
（平成15年、伏見八幡神社）
 - 鴨都波神社本殿
（平成15年、鴨都波神社）
- おかげ参りの文書の概要は、左記
の通りです。
- (1)「おかげ中 毎日泊名前 施行所」
三冊。閏三月四日から九月八日ま
での宿泊者の組の人数・出身地・代
表者の名前等を記載。
 - (2)「当施行所江 寄進 名前記」
寄進を受けた金品・数量・寄進者
の名前等を記載。跋文に金品以外の
寄進等を記載。
 - (3)「御所町丁毎にありし立山作りも
の次第書」
序文に施行の様子等、また終了後
に作られた立山（飾りもの）につい
て記載。
 - (4)神楽に関する文書。
終了後に行われた神楽の祝詞、役
割等。
 - (5)宿泊者のお礼の和歌等、九枚。



おかげ参り関係文書

(1)から(3)の文書の写真を示します。

御所町では、1万人弱の人たちに
対し宿泊の施行等をしており、その
ために近隣の村々を含む多くの人た
ちから寄進を受けています。次号以
降、これらについて説明させていた
できます。

なお、これらの文書の一部は、「葛
城の道歴史文化館」（御所市鴨神）
に展示されています。

（文責 中井陽二）



2013.

1